

2019年度

Kakomon-Shōkai 2019

# 全国通訳案内士試験

## 二次口述過去問詳解

英語

(上)

PEP 英語学校 校長

杉森 元 編著

Hajime Sugimori



「実務質疑」を含む全出題再現と、解答・解説、傾向対策はもとより、会場の運営状況まで、貴重な最新情報を満載！

過去問研究なくして合格なし 全受験者必携！

「楽しい学習による自己実現」を応援する

 **PEP英語学校**  
We are full of PEP!

2019年度  
全国通訳案内士試験二次口述  
試験会場の様子

2019/12/8 (日)  
撮影者：杉森 元



東京第1会場  
昭和女子大学 80年館  
東京都世田谷区太子堂 1-7-57  
最寄駅：東急田園都市線「三軒茶屋」



東京第2会場  
日本大学 三軒茶屋キャンパス  
東京都世田谷区下馬 3-34-1  
最寄駅：東急田園都市線「三軒茶屋」



東京第3会場  
目白大学 新宿キャンパス 10号館  
東京都新宿区中落合 4-31-1  
最寄駅：西武新宿線「中井」



各会場の面接室内の様子については  
こちらの **YouTube** 動画で！



教育系  
YouTuber

PEPEnglishSchool

2019年度

*Kakomon-Shōkai 2019*

**全  
国** 通訳案内士試験  
二次口述過去問詳解  
(上) **英語**

PEP 英語学校 校長

杉森 元 編著

Hajime Sugimori





## まえがき

すでにご承知の通り、全国通訳案内士試験（平成 29 年度までは「通訳案内士試験」、正式名称の変遷に拘わらず通称「通訳ガイド試験」）の二次口述は、平成 25 年度に大きな形式上の変更があった。具体的には、従前の「ランダムな質疑応答」から「通訳とプレゼンテーション」という定型の課題が設定されたものになった。当該試験が、国家資格を付与する試験として、客観性をより担保しやすい形式に改良されたことは、積極的に評価できる。

そしてさらに平成 30 年度には、通訳案内士法の改正に伴う新ガイドラインに基づき、二次口述の形式にもマイナーチェンジが施された。その内容の詳細については本文に譲るが、大まかにいうと、従前の「逐次通訳とプレゼンテーション」という平成 25 年度に定められた 2 つの課題は維持しつつ、これに「全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑」（略称「実務質疑」）という新課題が追加された。これは、当該改正によって一次筆記試験に「通訳案内の実務」という新科目が加わったことと平行に考えることができる。つまり、筆記と口述の両試験において「実務能力」が問われるようになったのである。

さて、では平成 30 年度より実務能力の判定を追加して合格の要件を重くしたのは、どのような趣旨によるものであろうか。この答を得るためには、まず先の通訳案内士法改正の内容を把握することが必要である。ここでは、従前認められてきた当該資格保持者による業務独占の廃止等の規制緩和により、ガイド業務へ新規参入するための法的要件のハードルを下げ（無資格でも就業できるようにして）いる。その一方で、有資格を志向する者（新規受験者及び過去の合格者）については、当該資格試験の科目・課題の追加に加え、実務研修受講を義務付ける等、逆にハードルを上げ、その実質的能力の担保を強く求めている。

これは、東京五輪等を控えての訪日外国人観光客急増に対応すべく、法的要件を撤廃してガイドの基礎数を容易に確保できるようにする一方で、「全国通訳案内士」という名称を独占できる資格保持者については、非資

格保持者よりも明らかに質の高いサービスを提供できる能力を求めることにより、資格保持者の差別化を図っていく、という趣旨であろう。

そして、全国通訳案内士としての能力を測るための第一関門である当該試験において、従前の「通訳とプレゼンテーション」は、その基本的能力を試す課題として適切であると判断して維持を決め、さらにこれに加えて「実務能力」を問うことにした。こうすることにより、いっそう質が高く、かつ即戦力たりうる人材を選別し資格を付与する。これが平成 30 年度の試験形式変更の理由であると考えられる。そしてこの新形式とその趣旨は、翌 2019 年度においてそのまま継承されている。

つまり、全国通訳案内士への期待は高く、その資格付与のための新試験の難易度は上昇傾向にある、といえる。特に二次口述は難易度が高く、近年の合格率は下降している。そうだとすれば、全国通訳案内士試験の突破を目指される方々にとって、過去問研究の重要性はますます高い。受験準備は過去問から—これが普遍のセオリーであることは多言を要しない。

しかし、受験者にとって過去問入手の必要性が高いにもかかわらず、二次口述は密室の中で行われ、その出題内容は非公開である。本書は実際に口述試験を受けられた方々からの聞き取りをもとに出題を再現し、これに解答例及び解説を加えたものである。また、試験会場での実際の運営の状況に関するレポートや、試験実施団体が発表している関連資料等も掲載しており、本書を読めば二次口述の全体像が完全に把握できるように構成されている。ぜひ、読者諸兄におかれては本書を十分に活用され、見事合格の栄冠を得られることを希望する。

最後になったが、情報提供に協力してくださった受験者の皆さん、英文ネイティブ校正者の N.M さん、そして「面接再現動画」に出演いただいた顧問弁護士の芝田麻里先生、その他、本書の上梓のためにご尽力くださった全ての方々に、著者として心より感謝申し上げます。

PEP 英語学校 校長 杉森 元

## 本シリーズの構成について

平成 25 年度より実施された新形式の二次口述試験では、逐次通訳課題とプレゼンテーション課題がセットになった問題組が、試験時間帯ごとに準備されてきた。平成 25 年度と 26 年度は、合計 6 つの時間帯それぞれに 1 組、計 6 種類の問題セットが準備された。しかし、平成 27 年度には、各時間帯に 4 ないし 6 種類の問題セットが準備され、大幅な問題増となった。そして、その翌年度以降、直近の 2019 年度（2018 年度より各問題組には新課題「実務質疑」が追加された）までは、各時間帯に 2 種類の問題セットが用意されるにとどまった。この問題数変遷の理由は発表されていないが、おそらく問題漏洩防止の観点から、試験実施団体は平成 27 年度より、各時間帯につき複数の問題セットを準備することにしたが、漏洩対策が目的なのであれば、各時間帯に 2 つで十分であり、4 ないし 6 までも増加させる必要はないと考え直したため、翌年以降は各時間帯に 2 種類の問題を準備するにとどめたものと思われる。

当書『過去問詳解』シリーズは、新形式初年度の平成 25 年度より毎年、その年の過去問とその解答・解説を収録している。出題問題セット数の変遷に伴って、平成 25、26 年度分はそれぞれ単巻、平成 27 年度分は上・中・下の三分冊、平成 28、29、30 年度分は、上・下の二分冊で発刊された。今回、2019 年度の方は前年度と同じ上・下の二分冊で発刊する。

ここにおいては、全出題の再現及び出題傾向の分析を上巻の「第 1 章 出題概観」に、そして時間帯 1～3 における出題分の解答・解説を同巻の「第 2 章 解答・解説」に、その他の情報を第 3 章以降に掲載する。そして下巻では、全出題の再現を「第 1 章 出題」に、そして時間帯 4～6 における出題分の解答・解説を「第 2 章 解答・解説」に掲載する、という編纂方針を採った。

新形式も 7 年目になり、すでにかかなりの量の過去問が蓄積されている（平成 30 年度のマイナーチェンジ以後も、それまでの逐次通訳とプレゼンテーション課題は維持されており、実際に平成 30 年度、そしてその翌年度たる 2019 年度には、平成 25～29 年度に出題された問題が再び出されて

いる。よって、平成 25～29 年度の過去問の有用性は、平成 30 年度以降も不変である)。過去問は受験準備のための最良の素材であり、通訳案内士の業務におけるニーズを反映した、合格後も役立つ情報の宝庫である。

学習者諸兄におかれては、以上をご理解の上、受験準備にあたり、必ず平成 25 年度から直近年度までの全過去問を検討されることをお勧めする。



<b>第1章 出題概観</b> .....	<b>1</b>
<b>面接における出題手順</b> .....	<b>3</b>
出題の流れ.....	4
各課題の条件.....	5
<b>全出題の再現（時間帯1～6）</b> .....	<b>6</b>
時間帯1（面接時間 10:00-11:00）.....	8
問題セット1（1-1 外国語訳が「相撲」の組）.....	8
問題セット2（1-2 外国語訳が「箱根」の組）.....	10
時間帯2（面接時間 11:00-12:00）.....	12
問題セット1（2-1 外国語訳が「様々な寿司」の組）.....	12
問題セット2（2-2 外国語訳が「日本の祭り」の組）.....	14
時間帯3（面接時間 13:00-14:00）.....	16
問題セット1（3-1 外国語訳が「桜前線」の組）.....	16
問題セット2（3-2 外国語訳が「紅葉」の組）.....	18
時間帯4（面接時間 14:00-15:00）.....	20
問題セット1（4-1 外国語訳が「寿司の歴史」の組）.....	20
問題セット2（4-2 外国語訳が「御節料理」の組）.....	22
時間帯5（面接時間 15:30-16:30）.....	24
問題セット1（5-1 外国語訳が「着物」の組）.....	24
問題セット2（5-2 外国語訳が「花火」の組）.....	26
時間帯6（面接時間 16:30-17:30）.....	28
問題セット1（6-1 外国語訳が「多様化する通訳ガイドスキル」の組） .....	28
問題セット2（6-2 外国語訳が「通訳ガイドの自然災害対応」の組） .....	30
<b>出題傾向の分析</b> .....	<b>32</b>
全体.....	32
試験形式について.....	32
出題分野について.....	32
プレゼンテーション問題.....	32
総論.....	32



プレゼンテーション例 .....	49
英語表現 .....	50
プレゼンテーション例の和訳 .....	51
質疑応答で出された質問 .....	52
③ ゴミの分別 .....	52
解答の指針 .....	52
プレゼンテーション例 .....	53
英語表現 .....	53
プレゼンテーション例の和訳 .....	54
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳） .....	55
問題「相撲」 .....	55
解答例 .....	55
英語表現 .....	56
関連知識と通訳のコツ .....	56
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） ...	57
問題「相撲チケット紛失」 .....	57
解答の指針 .....	57
解答例 .....	57
英語表現 .....	58
解答例の和訳 .....	58
問題セット2（1-2 外国語訳が「箱根」の組） .....	59
プレゼンテーション問題 .....	59
テーマ .....	59
解答・解説 .....	59
① 万葉集 .....	59
解答の指針 .....	59
プレゼンテーション例 .....	59
英語表現 .....	60
プレゼンテーション例の和訳 .....	61
質疑応答で出された質問 .....	62
② まんじゅう .....	63
解答の指針 .....	63

プレゼンテーション例 .....	64
英語表現 .....	64
プレゼンテーション例の和訳 .....	65
質疑応答で出された質問 .....	66
③ ラッシュアワー .....	67
解答の指針 .....	67
プレゼンテーション例 .....	67
英語表現 .....	68
プレゼンテーション例の和訳 .....	68
質疑応答で出された質問 .....	69
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳） .....	70
問題「箱根」 .....	70
解答例 .....	70
英語表現 .....	70
関連知識と通訳のコツ .....	71
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） ...	72
問題「せっかくの箱根で悪天候」 .....	72
解答の指針 .....	72
解答例 .....	72
英語表現 .....	73
解答例の和訳 .....	73
<b>時間帯 2（面接時間 11:00-12:00） .....</b>	<b>75</b>
問題セット1（2-1 外国語訳が「様々な寿司」の組） .....	75
プレゼンテーション問題 .....	75
テーマ .....	75
解答・解説 .....	75
① 桜島 .....	75
解答の指針 .....	75
プレゼンテーション例 .....	76
英語表現 .....	76
プレゼンテーション例の和訳 .....	77
質疑応答で出された質問 .....	78

② 桃の節句.....	78
解答の指針.....	78
プレゼンテーション例.....	78
英語表現.....	79
プレゼンテーション例の和訳.....	80
質疑応答で出された質問.....	80
③ 計画運休.....	81
解答の指針.....	81
プレゼンテーション例.....	82
英語表現.....	82
プレゼンテーション例の和訳.....	83
質疑応答で出された質問.....	84
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）.....	85
問題「様々な寿司」.....	85
解答例.....	85
英語表現.....	85
関連知識と通訳のコツ.....	86
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）... ..	86
問題「寿司作り体験をしたい」.....	86
解答の指針.....	87
解答例.....	87
英語表現.....	87
解答例の和訳.....	88
問題セット2（2-2 外国語訳が「日本の祭り」の組）.....	89
プレゼンテーション問題.....	89
テーマ.....	89
解答・解説.....	89
① 風鈴.....	89
解答の指針.....	89
プレゼンテーション例.....	89
英語表現.....	90
プレゼンテーション例の和訳.....	91

質疑応答で出された質問 .....	91
② 消費増税.....	92
解答の指針.....	92
プレゼンテーション例 .....	92
英語表現 .....	93
プレゼンテーション例の和訳 .....	94
質疑応答で出された質問 .....	95
③ 道の駅 .....	96
解答の指針.....	96
プレゼンテーション例 .....	96
英語表現 .....	97
プレゼンテーション例の和訳 .....	98
質疑応答で出された質問 .....	99
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳） .....	99
問題「日本の祭り」 .....	99
解答例 .....	100
英語表現.....	100
関連知識と通訳のコツ .....	100
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） .	101
問題「夏祭りに参加したい」 .....	101
解答の指針 .....	101
解答例 .....	101
英語表現.....	102
解答例の和訳.....	102
<b>時間帯 3（面接時間 13:00-14:00） .....</b>	<b>104</b>
問題セット 1（3-1 外国語訳が「桜前線」の組） .....	104
プレゼンテーション問題.....	104
テーマ .....	104
解答・解説 .....	104
① 百舌鳥古市古墳群 .....	104
解答の指針.....	104
プレゼンテーション例 .....	104

英語表現 .....	105
プレゼンテーション例の和訳 .....	106
質疑応答で出された質問 .....	107
② 鯛焼き .....	108
解答の指針 .....	108
プレゼンテーション例 .....	108
英語表現 .....	109
プレゼンテーション例の和訳 .....	110
質疑応答で出された質問 .....	111
③ メイドカフェ .....	111
解答の指針 .....	111
プレゼンテーション例 .....	111
英語表現 .....	112
プレゼンテーション例の和訳 .....	113
質疑応答で出された質問 .....	114
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳） .....	115
問題「桜前線」 .....	115
解答例 .....	115
英語表現 .....	115
関連知識と通訳のコツ .....	115
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） .....	116
問題「東京の桜が既に終わっていた」 .....	116
解答の指針 .....	116
解答例 .....	117
英語表現 .....	117
解答例の和訳 .....	117
問題セット2（3-2 外国語訳が「紅葉」の組） .....	119
プレゼンテーション問題 .....	119
テーマ .....	119
解答・解説 .....	119
① 軽井沢 .....	119
解答の指針 .....	119

プレゼンテーション例 .....	119
英語表現 .....	120
プレゼンテーション例の和訳 .....	121
質疑応答で出された質問 .....	122
② 千羽鶴 .....	122
解答の指針 .....	122
プレゼンテーション例 .....	123
英語表現 .....	124
プレゼンテーション例の和訳 .....	125
質疑応答で出された質問 .....	125
③ テレワーク .....	126
解答の指針 .....	126
プレゼンテーション例 .....	127
英語表現 .....	127
プレゼンテーション例の和訳 .....	129
質疑応答で出された質問 .....	129
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳） .....	130
問題「紅葉」 .....	130
解答例 .....	130
英語表現 .....	130
関連知識と通訳のコツ .....	131
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） .....	131
問題「日光の紅葉が既に終わっていた」 .....	131
解答の指針 .....	131
解答例 .....	132
英語表現 .....	132
解答例の和訳 .....	132
<b>第3章 「予定内容について」掲載のサンプル問題 .....</b>	<b>135</b>
文書「予定内容について」の全文面 .....	137
問題と解答例 .....	138
<b>第4章 各課題内の時間管理 .....</b>	<b>141</b>



①プレゼンテーションの準備時間（30秒） .....	143
②プレゼンテーションの時間（2分） .....	143
③外国語訳解答時間（1分） .....	145
④実務質疑の準備時間（30秒） .....	145
<b>第5章 試験会場関連情報.....</b>	<b>147</b>
<b>本試験の運営状況.....</b>	<b>149</b>
建物内での移動について .....	149
本試験当日のタイムテーブル .....	150
問題漏洩防止のための行動制限・他について .....	153
受付.....	153
大控室 .....	153
小控室 .....	154
面接室前.....	154
面接室 .....	154
挨拶・本人確認 .....	154
課題 .....	155
試験終了.....	155
一時待機場所 .....	156
試験終了者待機室 .....	156
<b>会場の雰囲気・付近の様子 .....</b>	<b>156</b>
会場到着まで .....	156
受付.....	157
大控室.....	158
<b>受験するにあたっての注意 .....</b>	<b>158</b>
持ち物.....	158
受付チェックインをするタイミング等 .....	159
待機時間の過ごし方等 .....	159
面接室内 .....	160
<b>第6章 試験対策.....</b>	<b>161</b>

お勧めの勉強法と教材 .....	163
総論.....	163
インプット .....	163
①過去問の把握 .....	163
②単語や日本事象に関する知識など .....	164
③各課題の理論（全体） .....	165
アウトプット .....	165
各課題の理論（個別） .....	165
プレゼンテーション .....	165
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳） .....	166
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） .....	166
各課題の演習 .....	168
プレゼンテーション .....	168
通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳） .....	176
全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑） .....	179
過去問出題一覧表 .....	180
教材の入手先 .....	186
<b>第7章 試験改正の経緯 .....</b>	<b>191</b>
平成 25（2013）年度改正 .....	193
「平成 25 年から実施する口述試験について」による告知 .....	194
平成 30（2018）年度改正 .....	194
平成 30 年度「口述試験の予定内容について」による告知 .....	196
平成 31（2019）年度ガイドライン改正 .....	196
2019 年度「口述試験の予定内容について」による告知 .....	197
令和 2（2020）年度ガイドライン改正 .....	197

# 第1章

## 出題概観

面接における出題手順

全出題の再現（時間帯1～6）

出題傾向の分析



本章においては、本年度の二次口述における全出題を概観する。各課題の解答例及び解説については、第2章「解答・解説」をご覧ください。

## 面接における出題手順

問われる課題は、①プレゼンテーション問題（即興プレゼン&質疑）、②通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（便宜的に「外国語訳」または「逐次通訳」「通訳」）、③全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（便宜的に「実務質疑」「実務トラブル質疑」「実務トラブル」「シチュエーション問題」等）、の3つであり、この順番で出題された。各課題の冒頭、試験方法に関する簡単なインストラクションが日本語で行われる。

なお、入室し挨拶を交わした後、最初に問われるのが、名前、誕生日、現住所の3つである。このやりとりは、英語で行われることと日本語で行われることがあり、採点対象外であると考えられる。面接時間は、1人につき合計で約11分と設定されている。

次頁の「出題の流れ」を一読された後、以下のYouTube動画を視聴いただければ、試験の流れの把握は完璧となる。この動画は、平成30年度の改正で加わった新課題「実務質疑」までを含んだ、新試験の様子を動画により完全に再現したものである。一目で試験の流れが把握でき、受験者のイメージづくりに最適といえる。



## 視聴方法

YouTubeのページより、アカウント名「PEPEnglishSchool」または「通訳ガイド」等のワードで検索し、上のサムネイルを選択する。

## 出題の流れ

課題	順	行為	内容・趣旨	言語	所要時間
	①	入室、挨拶	リラックスと本人確認 J試験官が日本語または英語で、受験者の名前・誕生日・住所を訊く	日本語 英語	30秒
プレゼンテーション&質疑	②	プレゼン 冒頭インストラクション	J試験官が受験者に対し、課題の内容、試験方法、要件等につき説明	日本語	30秒
	③	プレゼン準備	受験者が3択のお題から1つを選び、プレゼンを準備	無言	30秒
	④	プレゼン	受験者がプレゼン	英語	2分
	⑤	プレゼン質疑	E試験官と受験者が質疑応答	英語	2分
外国語訳	⑥	外国語訳 冒頭インストラクション	J試験官が受験者に対し、課題の内容、試験方法、要件等につき説明	日本語	30秒
	⑦	外国語訳問題文 読み上げ	J試験官が問題文を読み上げる	日本語	30秒
	⑧	外国語訳解答	受験者が問題文の英訳を口頭で解答	英語	1分
実務質疑	⑨	実務質疑 冒頭インストラクション	J試験官が受験者に対し、課題の内容、試験方法、要件等につき説明	日本語	30秒
	⑩	実務質疑準備	受験者が問題用紙を黙読して質疑の準備	無言	30秒
	⑪	実務質疑	E試験官と受験者が質疑応答	英語	2分
	⑫	終了宣言、挨拶、退室	J試験官は試験終了を告げ、問題漏洩を防ぐため、問題用紙等を回収して受験者を退出させる	日本語	30秒
計					11分

※J試験官＝日本語母語話者試験委員、E試験官＝英語母語話者試験委員

## 各課題の条件

### ◆プレゼンテーション&質疑

- ① 受験者は、30秒で三択のお題から1つを選び、かつプレゼンテーションの準備をする
- ② 準備中に、メモを取ることもできる（この旨の明文はガイドラインにないが、実際の現場では認められていた）
- ③ 受験者は、プレゼンテーションの冒頭で、選択したお題がどれであるかを英語で宣言した上で、プレゼンテーションに入る
- ④ プレゼンテーションは、2分程度でまとめる
- ⑤ プレゼンテーション終了後、英語母語話者試験委員と英語による質疑応答を行う

### ◆外国語訳

- ① 問題文の読み上げは1度のみ
- ② 受験者は、メモを取ることができる
- ③ 訳出は、問題文読み上げ終了後、直ちに開始し、1分以内に終了する

### ◆実務質疑

- ① 受験者は、30秒で問題文を黙読し、質疑応答の準備をする
- ② 準備時間中、受験者はメモを取ることができる
- ③ 質疑は、英語母語話者試験委員を観光客と見立てての英語によるロールプレー形式により行う

### 全出題の再現（時間帯 1～6）

受験者を合計 6 つの時間帯のグループに分け、時間帯 1～6 まで、それぞれ 2 組の「三択プレゼンテーション＋外国語訳＋実務質疑」セットが割り当てられた（計 12 セット）。各課題の数は、外国語訳が  $2 \times 6 = 12$  個、プレゼンテーションのトピックは  $3 \times 2 \times 6 = 36$  個あった。実務質疑は、外国語訳の問題数と同一であり、全部で 12 個である。



2019 年度 出題一覧表 2019 年 12 月 8 日（日）実施

時間帯	組	プレゼンテーション(計 36 題)	外国語訳(計 12 題)	実務質疑(計 6 種)
1 10:00-11:00	1	①明治維新 ②おでん ③ゴミの分別	相撲	相撲チケット紛失
	2	①万葉集 ②まんじゅう ③ラッシュアワー	箱根	せっかくの箱根で 悪天候
2 11:00-12:00	1	①桜島 ②桃の節句 ③計画運休	様々な寿司	寿司作り体験を したい
	2	①風鈴 ②消費増税 ③道の駅	日本の祭り	夏祭りに 参加したい
3 13:00-14:00	1	①百舌鳥古市古墳群 ②鯛焼き ③メイドカフェ	桜前線	東京の桜が 既に終わっていた
	2	①軽井沢 ②千羽鶴 ③テレワーク	紅葉	日光の紅葉が 既に終わっていた
4 14:00-15:00	1	①竿燈まつり ②タピオカ ドリンク ③気象警報	寿司の歴史	生魚が 食べられない客
	2	①金沢 ②ご当地（B級） グルメ ③里山	御節料理	夏だけ御節料理 を食べてみたい
5 15:30-16:30	1	①隠れキリシタン ②卵か けご飯 ③宅配ボックス	着物	日本庭園で着物を 着て写真撮影希望
	2	①天橋立 ②味噌田楽 ③カプセルホテル	花火	花火大会での混雑
6 16:30-17:30	1	①阿蘇山 ②お好み焼き ③聖地巡礼（マンガ、アニ メなどの）	多様化する 通訳ガイド スキル	外国製車椅子の 故障
	2	①ビアガーデン ②分煙 ③国定公園	通訳ガイドの 自然災害対応	地震による 新幹線の停止

※時間帯、問題組、プレゼンテーション課題の番号は、著者が任意に順不同で付したものである。

※外国語訳及び実務質疑課題のタイトルは、その内容のテーマを著者が読み取り、これを便宜的に各問題の名前としたものである。

時間帯 1（面接時間 10:00-11:00）

問題セット 1（1-1 外国語訳が「相撲」の組）

◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した 3 つのテーマから任意に 1 つを選び、そのテーマに関し、2 分間で英語による説明（プレゼンテーション）を行ってください。テーマの選択と準備の時間として 30 秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

明治維新  
おでん  
ゴミの分別

◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1 分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本文の内容—

もともと相撲は、五穀豊穡を神に感謝する神事でした。鎌倉時代に相撲は武士層の競技になり、江戸時代には大衆娯楽として発展し、その後、職業としてのスポーツとなり現在の大相撲に至っています。今では相撲の国際化が進み、外国人力士の数も増えてきています。(121 字)

◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30 秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行客と見立てて、ガイドとして対応してください。30 秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

—受験者に渡された紙の記載内容—

**【シチュエーション】**

通訳ガイドとしてお客様を大相撲観戦に会場までお連れしましたが、お客様がチケットを失くしたことに気が付きました。お客様は相撲を見ることを楽しみにしています。あなたならどう対応しますか。

**【条件】**

- ・お客様は個人旅行者（F I T）です。
- ・チケットはエージェントが手配し、お客様に渡しています。

## 問題セット2 (1-2 外国語訳が「箱根」の組)

### ◆プレゼンテーション問題

今からお渡しする紙に提示した3つのテーマから任意に1つを選び、そのテーマに関し、2分間で英語による説明(プレゼンテーション)を行ってください。テーマの選択と準備の時間として30秒が与えられ、その間、メモを取ることができます。プレゼンテーションの後、そのテーマについて試験委員と英語で質疑応答を行います。

—受験者に渡された紙の記載内容—

万葉集  
まんじゅう  
ラッシュアワー

### ◆通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳(通訳)

これから読み上げる日本語を聞いて、口頭で英語に訳してください。メモを取っても構いません。訳出は読上げ終了後ただちに開始し、1分以内に完了するようにしてください。問題文は一度しか読みませんので、よく聴いてください。

—試験官が読み上げた日本文の内容—

箱根は東京からのアクセスもよく、最も人気の高い観光地の1つで、国内外からの観光客を惹きつけています。ここでは、温泉の他、芦ノ湖遊覧、森林浴、ロープウェイなども楽しめます。箱根では富士山を間近に見ることができ、美しい自然も魅力の1つとなっています。

(123字)

### ◆全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑(実務質疑)

これから、実際の通訳ガイド業務で遭遇するような困った状況を書いた紙を渡します。30秒で黙読してください。その後、外国人試験委員を外国人旅行客と見立てて、ガイドとして対応してください。30秒の黙読中に、メモを取っても構いません。

—受験者に渡された紙の記載内容—

**【シチュエーション】**

東京から日帰りで箱根に来ていますが、天候が悪く、富士山を見ることができません。楽しみにしていた遊覧船やロープウェイも運休です。あなたは通訳案内士としてこの状況にどう対応しますか。

**【条件】**

お客様は個人旅行のため、行程や移動手段などの制約はありません。

ページ中略

## 出題傾向の分析

### 全体

#### 試験形式について

前年度のリニューアル（新課題「実務質疑」の追加等）を受け、本年度は原則として同一の形式がそのまま継承された。

#### 出題分野について

後述の課題別分析にて詳細するが、①過去問の再出が多いこと（プレゼンテーションで過去と同一の問題が多数出され、通訳も過去問とよく似た問題が出された。また以前、プレゼンテーションで出題された分野が通訳で出題され、その逆の例もあった）、②ガイド試験の伝統的出題分野たる「明治維新」がここ数年影を潜めていたところ、ついに復活したこと、③プレゼンテーションにおいて前年度たくさん出題された「非観光アトラクション・解説型」の出題が減少したこと、等が今年度の特徴として挙げられる。また、全体的に、通訳及びプレゼンを通じて、過去問に共通の典型分野から幅広く出題された。

## プレゼンテーション問題

### 総論

出題形式や問題数については、平成 28 年度以来の「6つの時間帯に問題セットが2つずつ」が維持された。プレゼンテーションのトピックは、1セットに3つずつなので、今年度のお題の数は全部で  $6 \times 2 \times 3 = 36$  個である。

今年度出題の内容的特徴には、先述のように、①過去問の再出題が多い、②超定番「明治維新」の復活、③純粋な「非観光アトラクション・解説型」出題数の対前年度比減少、が挙げられる。以下、各論において詳述する。

### 各論

#### 過去問の再出題

今年度に出題されたプレゼンテーションのトピック中、過去問の再出題（近似したものも含む）は以下の通りである。

No.	2019 年度出題	過去問
1	明治維新	H25 「19 世紀の日本で起きた歴史的出来事」 H26 「明治維新」
2	おでん	H27 「おでん」
3	桃の節句	H28 「ひなまつり」
4	風鈴	H26 「風鈴」 H27 「風鈴」
5	道の駅	H27 「道の駅」
6	千羽鶴	H29 「千羽鶴」
7	カプセルホテル	H27 「カプセルホテル」
8	ラッシュアワー	H29 「満員電車」
9	百舌鳥古市古墳群	H29 「前方後円墳」 H26 「古墳」
10	金沢	H27 「金沢の名産品」
11	天橋立	H29 「日本三景」

以上からわかるように、過去問のお題と完全に一致したものが 6 題、ほぼ一致ないし極めて近似したものが 5 題、合計 11 題が過去問の再出題といえる。すなわち、総トピック数 36 のうち 11 は、過去問を十分に検討しておくことにより、容易に高評価を得られる出題であった、といえる。

ちなみに、前 (H30) 年度における過去問から再出題されたプレゼンのお題の数は、「渋谷スクランブル交差点」「鹿威し」「打ち水」「彼岸」(全て H27 に同一の出題あり)、の 4 つである。これと比較すれば、今年度の過去問再現率はかなり高いといえよう。

なお、分野的に関連があるものとしては、平成 30 年度に「もんじゃ焼き」、平成 29 年度に「たこ焼き」が出題されたところ、「粉もの」つながりで、本年度は本命の「お好み焼き」が出題された。また、平成 30 年度に「路上喫煙」が出題されたところ、本年度は「分煙」が出題されている (共に、訪日外国人が日本の喫煙規制についてトラブルに巻き込まれないためのガイドからの情報提供、という出題趣旨であると考えられる)。そして、平成 28 年度に「国立公園」が出題されたところ、本年度はやや意外ながら「国定公園」が出題されている。



## 超定番「明治維新」の復活

上述の通り、通訳ガイド試験の伝統ともいえる「明治維新」関連の出題が、ここ数年鳴りを潜めていたところ、2019年度に復活した。この点は、筆者が毎年刊行される『過去問詳解』の中で予言していた。二次口述が現在の形式となった平成 25（2013）年度以降におけるプレゼンテーションの出題中、明治維新関連のものを年度ごとに追うと、以下のようになる。

年度	出題
2013	「19世紀の日本で起きた歴史的出来事」（明らかに明治維新のこと） 「江戸」
2014	「明治維新」「鎖国」「黒船」
2015	「一万円札に描かれている人物」（∵福沢諭吉） 「坂本龍馬」「新選組」
2016	なし
2017	なし
2018	なし
2019	「明治維新」

以上からわかるように、「明治維新」関連の出題は、4年ぶりに復活したことになる。ただし、直接の出題がなかった2016～2018年度の間も、間接的に明治維新の知識は常に必要とされており、話の流れによっては明治維新の知識が必要となるような出題は存在していた。たとえば、2016年度の「江戸城」「天皇制」などは、明治維新に話が及ぶ可能性が非常に高い。また、2017年度の「交番」については、近代警察制度の開始は明治維新に遡るといふ歴史がある。同年度の「神道」も、明治維新の精神的支柱の1つであるという点で関連がある。

## 純粋な「非観光アトラクション・解説型」出題数の対前年度比減少

この「非観光アトラクション・解説型」というカテゴリーは筆者が勝手に創設・命名したものであるが、要するに具体的な観光に関する事物に直結しておらず、「解説自体がアトラクション」（「理解」を目的とする）もの、という意味である。過去の出題を見ると、前年度の平成 30年度には

「集団登下校」「働き方改革」「無礼講」「根回し」「太陽光発電」等、たくさん出されたところ、本年度は「テレワーク」のみが純粹の「非観光アトラクション・解説型」である（「ラッシュアワー」や「ゴミの分別」等は、それ自体アトラクションではないものの、それぞれ「ラッシュアワー」は、観光客として避けるべきもの、「ゴミの分別」は、観光客が長期滞在や民泊の利用などをして自らゴミの処理をする際に有用な情報として、「観光」に結び付けることが可能である。また「宅配ロッカー」は微妙であるが、コンビニや駅の宅配ロッカーを観光客が用いてネットで買い物をすることは考えられる）。

さらに、それ以前の過去問を見ると、平成 29 年度に「待機児童問題」が、平成 28 年度に「日本の家族」、平成 27 年度に「お受験」、などが出された例がある。つまり、一昨年度までは、「非観光アトラクション・解説型」の出題頻度は概ね各年度に 1 問出るかどうか、であったので、むしろ昨年度がやや異常であったのであり、今回、普通に戻ったともいえる。

受験戦略的には、この「非観光アトラクション・解説型」は、「抽象論だけに、事前の知識の蓄積がない限り即興スピーチが難しい分野」と認識するべきである。抽象論は個人的体験に結び付けて話し難く、話す方も聞く方もコミュニケーションにコスト（適切な語彙の選択など）がかかる。そのコストは当然、受験者への評価に跳ね返ってくる。

受験者としては与えられた 3 つのお題の中にこれがあった場合、特段の事情がない限りできるだけ選択しない、という方向で考えるのが良策であろう。プレゼンテーションのテーマは三択であり、どれか 1 つについて話せばそれでよいわけである。これまでの出題を見ても、3 つ全部が「非観光アトラクション・解説型」、という組み合わせは皆無であって、3 つのうち必ず 1 つは「具体的な観光アトラクションもの」が含まれている。

以上より導かれる、受験者が今後採るべき受験準備方針としては、一応、社会解説もできるよう、常に新聞やニュース等に目配りし、知識と語彙を仕入れておく一方で、基本となる「観光アトラクションもの」については確実に解答できるよう、広く深く学習しておく、ということになる。基本の習得に最も適切な教材は過去問である。先述の通り、今年度も過去問からの再出題が多くみられる。プレゼンテーション課題が導入された平成 25

ページ中略

# 第 2 章

## 解答・解説

時間帯 1 & 2 & 3



本章では、本試験の時間帯 1～3 における出題につき、解答例を示した上で解説を加える。

課題は、出題された順に、①プレゼンテーション問題（プレゼン&質疑）、②通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）、③全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）、の 3 つであり、この順番で検討する。

なお、時間帯 4～6 における出題分の解答例と解説については、下巻に掲載予定である。

## 時間帯 1 (面接時間 10:00-11:00)

問題セット 1 (1-1 外国語訳が「相撲」の組)

プレゼンテーション問題

テーマ

- ① 明治維新
- ② おでん
- ③ ゴミの分別

※各プレゼン例の朗読音声は、別売書籍『モデル・プレゼンテーション集 過去問編①』の添付 CD に収録

解答・解説

### ① 明治維新

解答の指針

ここ数年、鳴りを潜めていた大本命である。明治維新は、一次筆記試験でも頻出の分野で、これはもはやガイド試験の伝統であるといってもよい。とにかく、通訳ガイド試験を受ける以上、明治維新についての一応の説明は目をつぶってもできるように準備しておかなければならない。その上で、受験者は全員、明治維新の準備があるのだとすれば、その中で頭 1 つ抜けるために、より深く広い知識を得て、これを展開する技術が求められる。

プレゼンテーション例

I would like to talk about **the Meiji Restoration**.

The Meiji Restoration refers to changes in late 19<sup>th</sup>-century Japan. It succeeded in modernizing the nation by “restoring” Imperial rule, which was nullified by shoguns.

It started when Commodore Perry’s Black Ships visited Japan demanding that Japan abandon its national seclusion policy. Intimidated, the Shogunate gave in. Frustrated, some patriots believed that Japan could build a strong nation by abandoning the Shogunate and working under unified Imperial authority.

Among these was Yoshida Shoin, an educator from Choshu, present-day Yamaguchi Prefecture. Brilliant, he became professor of

military studies at the age of nine. Later, aspiring to learn western sciences, he risked his life by breaking the law and rowing a small boat on a high sea at night to Perry's Black Ships anchored offshore to ask to be let aboard to study in America. Although impressed, Perry declined. Afterwards, Shoin taught at a branch of the Shokasonjuku Academy that he opened in his home, now a World Heritage site, which produced many contributors to the Meiji Restoration, including two Prime Ministers.

The success of the Meiji Restoration is attributed to learning and action. I hope this helps you appreciate it. Thank you. (200 words)

英語表現

- the Meiji Restoration [rɛstərɛiʃən] 明治維新
- restore [rɪstɔːə] 復旧する、元へ戻す、復活させる
- nullify [nʌlɪfaɪ] 無効化する
- Commodore Perry [kəmədɔːə] ペリー提督
- Black Ship 黒船
- abandon [əbændən] 廃棄する
- national seclusion policy [sɪklʊːʒən] 鎖国政策
- Shogunate [ʃoʊgənət] 幕府
- frustrate [frʌstreɪt] 挫折させる、悔しがらせる、くじく
- patriot [peɪtriət] 愛国者、憂国の士
- authority [əθɔːrəti] 権威
- brilliant [brɪliənt] 天才的な、才気あふれる
- military studies [mɪlətəri] 兵法
- aspire [əspaɪə] 切望する、志す
- science [saɪəns] 学問
- row [rou] 漕ぐ
- high sea [haɪ si:] 高波
- anchor [æŋkə] 錨で止める、停泊させる
- Shokasonjuku Academy [əkædəmi] 松下村塾
- World Heritage site [hɛrətədʒ] 世界遺産

- produce [prədʒʊ:s] 輩出する
- contributor [kəntrɪbjətə] 功労者
- Prime Minister 総理大臣
- attribute [ətrɪbjʊ:t] 原因を求める、帰着させる

#### プレゼンテーション例の和訳

私は、**明治維新**についてお話しいたします。

明治維新とは、19世紀後半の日本に起きた一連の変化を指します。明治維新では、従前、将軍によって無効化されていた朝廷による支配の「復古」を実現することにより、国家の近代化が成功裏に行われました。

明治維新のそもそもの始まりは、ペリー提督の黒船が日本にやってきて、日本に鎖国政策の放棄を要求したことでした。恐れをなした幕府は、この要求を受け入れました。これに憤激した一部の愛国者が、日本はもはや幕府を捨て、共に朝廷の権威の下で努力して、強い国を造るべきだ、と信じるようになりました。

こう信じた者の1人に、現在の山口県にあたる長州出身の吉田松陰という教育者がいます。松陰には天才的な能力があり、わずか9歳で兵法の教授となりました。後に彼は西洋の学問を志し、命がけで国禁を犯して、夜中高波の中、沖に停泊中だったペリーの黒船めがけて小舟を漕ぎ出し、自分はアメリカへ留学したいので船に乗せてほしい、と頼みこみました。この気概にペリーは深い感銘を覚えたものの、この希望を受け入れることは拒絶しました。その後、松陰は故郷にて増築した松下村塾で教鞭を執りました。この学舎は、現在、世界遺産に登録されています。松下村塾からは後の総理大臣2人を含む、維新の功労者がたくさん輩出されました。

明治維新の成功は、勲励と行動力の賜物であるといえるでしょう。今回の私のお話で、明治維新につき皆様のご理解を深めていただけたのであれば、大変うれしく思います。どうもご清聴ありがとうございました。

#### 質疑応答で出された質問

- ・明治維新においては、幕府が滅び政権が天皇に戻ったことの他にどのような変化があったのか。
- ・士農工商の下の身分はあるか。簡単に述べよ。



- ・富岡製糸場の他に、どのような工場が建てられたか。
- ・八幡製鉄所は九州に建てられたが、なぜ九州がその立地として選ばれたのか。
- ・明治時代の建物には、どのようなものがあるか。
- ・ニコライ堂はどのような建物か。
- ・新しい教育制度とは、どのような制度か。
- ・明治維新は、正確にはいつ起こったのか。
- ・急速な近代化とは、具体的にどのようなものか。
- ・明治維新により、どのような文化的変化が起きたか。
- ・明治維新により、どのような経済的変化が起きたか。
- ・明治の名前の由来は何か。
- ・明治維新後、日本はどのように変わったか。
- ・明治維新とは内戦や内乱のことか。
- ・明治維新により、教育制度はどう変わったか。

#### 関連過去問

- ・「19世紀の日本で起きた歴史的出来事」(H25 時間帯5 プレゼン) > 『過去問詳解ダイジェスト H25-26』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅰ』
- ・「江戸」(H25 時間帯6 プレゼン) > 『過去問詳解ダイジェスト H25-26』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅰ』
- ・「明治維新」(H26 時間帯1 プレゼン) > 『過去問詳解ダイジェスト H25-26』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅰ』
- ・「黒船」(H26 時間帯5 プレゼン) > 『過去問詳解ダイジェスト H25-26』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅰ』
- ・「鎖国」(H26 時間帯3 プレゼン) > 『過去問詳解ダイジェスト H25-26』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅰ』
- ・「坂本龍馬」(H27 時間帯3 プレゼン) > 『H27 過去問詳解(中)』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅲ』
- ・「新選組」(H27 時間帯4 プレゼン) > 『H27 過去問詳解(中)』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅲ』

ページ  
中略

含まれます。地域により、これらの4つがさらに細分化されることもあります。四国は徳島の上勝町では、何とトータルで45分別を行い、リサイクル率80%を達成しています。

ゴミのルールはかなり複雑で、地域により違いがあるので、初めてその地に来た人々にとって、どのようにゴミを分別し、いつ集積所へ持っていけばよいか、を覚えるのはなかなか大変なことです。各自治体は、しばしば多言語で、情報をパンフレットやホームページに掲載し、公開しています。

日本は、1960年代の高度経済成長期以来、ゴミの問題に直面し続けてきました。そして今日、住民は皆でゴミを分別し、それぞれの自治体に協力しています。こうした努力を共に行えば、環境保護に資するだけでなく、地域コミュニティとの良好な関係を築くことができます。今回の私のお話が、皆さまの参考になれば幸いです。どうもご清聴ありがとうございました。

## 通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳（通訳）

### 問題「相撲」

もともと相撲は、五穀豊穡を神に感謝する神事でした。鎌倉時代に相撲は武士層の競技になり、江戸時代には大衆娯楽として発展し、その後、職業としてのスポーツとなり現在の相撲に至っています。今では相撲の国際化が進み、外国人力士の数も増えてきています。(121字)

※上記問題文の読み上げ音声は、別売の通訳演習用DVD教材「2019 逐次通訳過去問勝負！（上）」に収録

### 解答例

Sumo originated in a Shinto rite in which people expressed appreciation to the god of the harvest. In the Kamakura Period, sumo became a sport practiced among samurai. During the Edo Period, it developed as mass entertainment and later into a professional sport, which is presented today as Ozumo, or Grand Sumo. Nowadays, the internationalization of sumo has progressed, and the number of sumo wrestlers from overseas is on the rise. (71 words)

## 英語表現

- 五穀豊穡の神 the god of the harvest [há:əvɛst]
- 感謝 appreciation [əpri:ʃi:ɪʃən]
- 神事 Shinto rite
- 大衆娯楽 mass entertainment [ˈɛntətɛɪnmənt]

## 関連知識と通訳のコツ

本問は、まず問題文の長さの点について 121 字と、近年の出題の中では平均的といえる。内容的には平易で、よく聞く話であり、原文のコンプリヘンションに格別の困難はない。語彙・表現も、普通にガイド試験の勉強をしていれば馴染んでいる類のものである（たとえば「五穀豊穡を神に感謝する神事」というフレーズは、祭り、流鏝馬、神楽、等々、他の通訳ガイドのトピックで頻出である）。よって全体としては、易問と評価できる。それだけに本番では、高いレベルのデリバリーが求められるであろう。逆に、本問につき、リテンションに困難を感じた場合は通訳訓練が、語彙・表現に困難を感じた場合は、普段のボキャブラリー・ビルディングが足りない、ということである。本問はガイド試験的には「典型問題」ということができ、受験勉強としては、問題及び解答例を丸暗記しておいてもいいであろう。

## 関連過去問

- ・「力士と儀式」(H27 時間帯 6 通訳) > 『H27 過去問詳解 (下)』「H27 逐次通訳過去問勝負! (下)」
- ・「大相撲」(H29 時間帯 4 プレゼン) > 『H29 過去問詳解 (下)』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅷ』
- ・「流鏝馬」(H30 時間帯 3 プレゼン) > 『H30 過去問詳解 (上)』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅸ』
- ・「雅楽」(H27 時間帯 5 プレゼン) > 『H27 過去問詳解 (下)』『モデル・プレゼンテーション集 過去問編Ⅳ』

## 全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑（実務質疑）

### 問題「相撲チケット紛失」

#### 【シチュエーション】

通訳ガイドとしてお客様を大相撲観戦に会場までお連れしましたが、お客様がチケットを失くしたことに気が付きました。お客様は相撲を見ることを楽しみにしています。あなたならどう対応しますか。

#### 【条件】

- ・お客様は個人旅行者（FIT）です。
- ・チケットはエージェントが手配し、お客様に渡しています。

### 解答の指針

大相撲のチケットは再発行不可、という現場の知識があれば、そこを軸に対応策を考えられるので、解答しやすいであろう。つまり、できるだけ探してみる⇒ダメな場合は再購入しかない、と方針を立てやすい。

実務質疑では、「完全な解決策」はそもそも不可能な問題設定がよくある。ただ、お客様に不利益なことについては、丁寧にその理由を説明して納得を得るようにする、という態度が大切である。今回のチケット紛失はお客様側の過失なので、ガイドが謝罪する必要はないが、できるだけ理性的かつ親切な対応を心がけるとよいであろう。

### 解答例

Let's see if we can find it. Can you remember when and where you saw it last? Have you checked all your pockets, wallet and bag? In the meantime, I'll contact the travel agent for information to identify the ticket. It's for a particular seat and the agent purchased it under your name, so we can show that you purchased the ticket. However, even if we can prove the purchase, sumo tickets are like cash and the rules say that they won't reissue tickets for any reason. If we can't find it, our last hope will be the Lost and Found. If we are lucky, whoever found the ticket may have turned it in there and we'll be able

to pick it up. Of course, you'll need to present your ID. If it wasn't turned in to the Lost and Found, I'm afraid that you will have to purchase a new ticket—if tickets are still available.

### 英語表現

- identify [aɪdɛntəfaɪ] 特定する
- reissue [ri:ɪʃu:] 再発行する
- the Lost and Found 遺失物取扱所
- turn in 届け出る

### 解答例の和訳

まず、とりあえず探してみましよう。最後にチケットを見たのがいつどこであったか、覚えていらっしゃいますか。ポケット、財布、カバンなどは全てチェックされましたか。私の方は、旅行会社に連絡して、お客様のチケットを特定する情報を入手いたします。チケットは特定の席のものであり、旅行会社はお客様の名義で購入していますから、お客様がチケットを購入した事実は証明可能です。ただ、購入事実を証明できたとしても、相撲のチケットは現金と同じで、いかなる理由があっても再発行はされない規則になっています。もし見つからなかった場合、最後の望みは遺失物取扱所ということになります。運がよければ、チケットを拾った人が届けてくれていて、そこで取り戻すことができます。その際は、もちろんお客様の身分証明書の提示が必要になります。遺失物取扱所への届けがなかった場合は、残念ながら、新たにチケットを購入する以外なさそうです。ただしそれも、チケットがまだあれば、の話ですが。

ページ中略

# 第7章

## 試験改正の経緯

平成 25（2013）年度改正

「平成 25 年から実施する

口述試験について」による告知

平成 30（2018）年度改正

平成 30 年度「口述試験の予定内容について」

による告知

2019 年度「口述試験の予定内容について」

による告知

平成 31（2019）年度ガイドライン改正

令和 2（2020）年度ガイドライン改正



冒頭の「まえがき」で述べた如く、全国通訳案内士試験は、毎年「ガイドライン」が発表され、その年度の試験の方針が示される。

ガイドラインその他、試験実施団体が公式に発表する情報は、試験情報としては最も信頼すべき情報である。受験者が、受験業界内にあふれる様々な情報に溺れることなく、試験の実体を正しく把握するためには、常にガイドラインに立ち帰ることが必要である。そこで本章では、近年のガイドライン等、公式発表に示された試験内容の変更部分を明らかにすることにより、本試験で要求される事柄が何であるかの把握を試みる。

## 平成 25（2013）年度改正

平成 25 年 4 月 1 日に当該年度のガイドラインが発表され、改正の内容が示された。本書冒頭の「まえがき」で述べた通り、従前は「ランダムな質疑応答」であったところ、この改正により、「通訳問題」と「プレゼンテーション問題」という 2 つの明確な課題が設定され、今日の形式の基礎が作られた。

## 平成 25 年度改正時のガイドライン規定の新旧比較

※注目すべき点をゴシック体にて表示してある。H30 年度より合格基準点は 7 割になり、評価項目に「ホスピタリティ」が追加された。

		旧	新
試験内容	基本コンセプト	試験は、日本の地理、歴史ならびに産業、経済、政治および文化についての主要な事柄のうち <b>外国人観光客の関心の強いもの</b> を題材として、受験者に <b>通訳案内の業務を疑似的に行わせること</b> により実施するものとする。	試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄のうち、 <b>外国人観光客の関心の強いもの</b> を題材として、受験者に <b>通訳案内の業務を疑似的に行わせること</b> により実施するものとする。
	問題分野	各問題群は、たとえば日本人の生活や習慣の分野から 1 問、日本の伝統文化の分野から 1 問、現代日本社会の分野から 1 問というように出題分野を統一するとともに、 <b>時間帯</b> によって大きな差が出ないように <b>質問内容のレベルを合わせる</b> 。	削除
合否判定		あらかじめ以下の評価項目ごとに、具体的な合格基準点を設定しておくものとする。その上ですべての評価項目について当該合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。	あらかじめ以下の評価項目ごとに、具体的な合格基準点を設定しておくものとする。合否判定は、原則として <b>6 割を合格基準点</b> とし、当該合格基準点に達しているか否かを判定することにより行う。
評価項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取り能力</li> <li>・表現力</li> <li>・発音及び文法の正確性</li> <li>・回答能力（臨機応変な反応力を含む）</li> <li>・上記に掲げるもののほか、旅行者に対する<b>配慮の適切性</b>、通訳案内業務に対する<b>十分な意欲</b>等通訳案内士として必要な適性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>プレゼンテーション</b></li> <li>・コミュニケーション（臨機応変な対応力、会話継続への意欲等）</li> <li>・文法及び語彙</li> <li>・発音及び<b>発声</b></li> </ul>

◆平成 25 年度改正により、二次口述はどう変わったか？

- ①イニシアチブが「試験官」から「受験者」へ移った。
- ②「トーク」から「タスク」へと変わった（通訳と即興プレゼン+Q&A）。
- ③「情緒的主観的な就職試験」から「客観的能力判定を志向する資格試験」へと変わった。

◆現在に至るまで変わらないのは？

「外国人観光客の関心の強いもの」「受験者に通訳案内の業務を疑似的に  
行わせる」⇒試験の形式は変わったが、基本コンセプトは不変。

「平成 25 年から実施する口述試験について」による告知

表題のような文書が試験実施団体より発表された。まず 2013 年 2 月に発表され、続いて 5 月に改訂版が出された。ここにおいては、通訳問題とプレゼンテーション問題のサンプルが示された。具体的内容については、通訳問題につき、PEP 英語学校の DVD 教材「Sample+3」、プレゼンテーション問題につき、『モデル・プレゼンテーション集 過去問編 I』に掲載されているので、それぞれ参照されたい。

平成 30（2018）年度改正

平成 30 年 3 月 30 日に、当該年度のガイドラインが発表された。通訳案内士法の改正に伴い、全国通訳案内士試験に実務科目が追加されることが示された。

平成 30 年度改正時の新旧ガイドラインにおける二次口述に関する部分の比較表

※変更・追加された部分に波線を施してある

改正前	改正後
<p><u>VI.</u> 口述試験について (1) 試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験は、総合的な外国語の能力並びに日本地理、日本歴史及び一般常識に係る正確な知識を活用して行われる、通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力について判定するもの</li> </ul>	<p><u>VII.</u> 口述試験について (1) 試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験は、総合的な外国語の能力並びに日本地理、日本歴史、一般常識及び<u>通訳案内の実務</u>に係る正確な知識を活用して行われる、通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力につ</li> </ul>

<p>とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験を受けることができる外国語は、受験者が筆記試験において選択したものと同一のものとする。</li> <li>・試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものを題材として、受験者に通訳案内の業務を擬似的に行わせることにより実施するものとする。</li> <li>・試験時間は、10 分程度とする。</li> <li>・終了者からの問題の漏洩を避けるため、当該時間帯の間、終了者を未受験者と別の部屋に待機させ、通信機器を預かる等の措置を取るとともに、時間帯によって大きな差が出ないように質問内容のレベルを合わせるなど、受験者間で不公平が生じないような方法とする。</li> <li>・内容は、試験官が読み上げる日本語を外国語へ通訳する「<u>通訳問題</u>」、提示される3つのテーマから受験者が1つを選び、外国語で説明を行い、そのテーマについて試験官と外国語で質疑応答を行う「<u>プレゼンテーション問題</u>」の2題とする。なお、「<u>通訳問題</u>」において、試験官が読み上げる問題内容については、メモを取ることを認める。</li> </ul>	<p>いて判定するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験を受けることができる外国語は、受験者が筆記試験において選択したものと同一のものとする。</li> <li>・試験は、外国人観光旅客が多く訪れている又は外国人観光旅客の評価が高い観光資源に関連する地理、歴史並びに産業、経済、政治及び文化についての主要な事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものを題材として、受験者に通訳案内の業務を擬似的に行わせることにより実施するものとする。</li> <li>・試験時間は、10 分程度とする。</li> <li>・終了者からの問題の漏洩を避けるため、当該時間帯の間、終了者を未受験者と別の部屋に待機させ、通信機器を預かる等の措置を取るとともに、時間帯によって大きな差が出ないように質問内容のレベルを合わせるなど、受験者間で不公平が生じないような方法とする。</li> <li>・内容は、試験委員が読み上げる日本語を外国語訳し、その問題文に関連した質疑を行う「<u>通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳及び全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑</u>」、提示される3つのテーマから受験者が1つを選び、外国語で説明を行い、そのテーマについて試験委員と外国語で質疑応答を行う「<u>プレゼンテーション問題</u>」の2題とする。なお、「<u>通訳案内の現場で必要となる知識等に関する外国語訳及び全国通訳案内士として求められる対応に関する質疑</u>」において、試験委員が読み上げる問題内容については、メモを取ることを認</li> </ul>
--	---

ページ中略

PEP 英語学校の講座

全国通訳案内士試験二次口述準備講座・  
会議通訳小教室・有名スピーチ暗唱コース

# Skype個人レッスン



パソコンとネット環境さえあれば、  
いつでも自宅で気軽に楽しく  
プライベート・レッスン！

ネット時代こそ個人教授！  
理想的コーチングで、  
全ての人に「楽しい学習による自己実現」を！

お問い合わせは HP からどうぞ！

YouTube 動画による説明も自由にご覧いただけます。



①通訳案内士試験二次口述準備講座、②会議通訳小教室、③有名英語スピーチ暗唱コース、の3種類の講座が Skype で受けられます。全て杉森校長による個人コーチです。まずは、HP のお問い合わせフォームから「講座に興味がある」旨をお知らせください。ご質問等あれば、併せてお尋ねください。メールにてお返事申し上げます。その後「もう少し詳しく」ということであれば、Skype にて面談し、直接お話することも可能です。照会・相談・質問等は全て無料であり、ご照会者様が最終的に受講の意思表示をする前までならば、自由に手を中止できます。また、レッスンは1コマ単位で受けることが可能なので、「自分に合わない」といったリスクは、最小限に留めることができます。お気軽にどうぞ。

PEP 英語学校 HP : [www.pep-eigo.com](http://www.pep-eigo.com)

## 〔著者紹介〕

杉森 元 Hajime Sugimori

福岡県出身。大学で歴史学を専攻し社会科教員免許を取得。大手塗料会社海外営業部勤務の後、通訳案内士試験予備校講師、英検1級講師、代々木ゼミナール英語科講師、駿台予備学校英語科講師など英語教育に従事。その後、サイマル・インターナショナル専属同時通訳者となり、サイマル・アカデミー通訳者養成コースの講師も担当した。現在、PEP 英語学校校長。通訳案内士試験準備講座と会議通訳小教室の講師を務める。「楽しい学習による自己実現」がモットー。通訳案内士試験関連著書に『モデル・プレゼンテーション集』『通訳案内士試験二次口述過去問詳解』『逐次通訳七番勝負!』『コンピューター・フレンドリー日本事象英単語帳』などがある。趣味はクラシックギター、将棋、バードウォッチング、旅行など。



著者近影

## 2019年度 全国通訳案内士試験二次口述過去問詳解（上）

2020年8月 初版発行

著者 杉森 元

発行者 PEP 英語学校

〒167-0023

東京都杉並区上井草 2-30-15 第二ケヤキビル 102号

Tel: 03-5938-7777

HP: <https://www.pep-eigo.com>

Mail: [info@pep-eigo.com](mailto:info@pep-eigo.com)

※本書を読まれて、ご感想等ございましたら、  
ぜひ上記までお寄せください。

本書の無断複製を厳禁します。

乱丁・落丁はお取替えます。

下町情緒残る  
木場の隠れ家レストラン  
旬の食材を活かした  
創作イタリアンフレンチを  
是非ご堪能下さい。



イタリアン&フレンチ  
創作料理

OSTERIA

武

オステリア・タケ



桃のマリネサラダ



冷製のカルボナーラ



鹿ヒレ肉のロティ

シェフのお任せコースと  
お客様のお好みに合わせたアラカルトを  
ご用意しております。

コースA 3500円	コースB 5000円
アミューズ	アミューズ
アンティパスト	アンティパスト
パスタ	パスタ
デザート	メイン
	デザート

「面接再現動画」出演「麻里先生」の  
ご主人の店！

魔法の合言葉  
ベップ  
「PEP」で  
グラスワイン  
1杯プレゼント  
いたします♡



Welcome to Os-Take!

カウンター8席、  
半個室1室（4名～6名様）の  
おしゃれで小さなお店です。

オスタケ HP へ GO!



☎ 03-6666-1460

📍 東西線木場駅 1 出口 徒歩 7 分



ISBN978-4-908485-24-4  
C1082 ¥5273E



2019年度 課題一覧 2019年12月8日(日) 試験実施

掲載	面接時間帯	組	プレゼンテーション (計36題)	外国語訳(計12題)	実務質疑(計12題)
上巻	1 10:00-11:00	1	①明治維新 ②おでん ③ゴミの分別	相撲	相撲チケット紛失
		2	①万葉集 ②まんじゅう ③ラッシュアワー	箱根	せっかくの箱根で 悪天候
	2 11:00-12:00	1	①桜島 ②桃の節句 ③計画運休	様々な寿司	寿司作り体験を したい
		2	①風鈴 ②消費税 ③道の駅	日本の祭り	夏祭りに 参加したい
	3 13:00-14:00	1	①百舌鳥古市古墳群 ②鯛焼き ③メイドカフェ	桜前線	東京の桜が 既に終わっていた
		2	①軽井沢 ②千羽鶴 ③テレワーク	紅葉	日光の紅葉が 既に終わっていた
下巻	4 14:00-15:00	1	①竿燈まつり ②タピオカドリンク ③気象警報	寿司の歴史	生魚が 食べられない客
		2	①金沢 ②ご当地(B級)グルメ ③里山	御節料理	夏だけど御節料理 を食べてみたい
	5 15:30-16:30	1	①隠れキリシタン ②卵かけご飯 ③宅配ボックス	着物	日本庭園で着物を 着て写真撮影希望
		2	①天橋立 ②味噌田楽 ③カプセルホテル	花火	花火大会での混雑
	6 16:30-17:30	1	①阿蘇山 ②お好み焼き ③聖地巡礼(マンガ、アニメなどの)	多様化する 通訳ガイドスキル	外国製車椅子の 故障
		2	①ビアガーデン ②分煙 ③国定公園	通訳ガイドの 自然災害対応	地震による 新幹線の停止

※時間帯、問題組、プレゼンテーション課題の番号は、著者が任意に順不同で付したものである。

※外国語訳及び実務質疑課題のタイトルは、その内容のテーマを著者が読み取り、これを便宜的に各問題の名前としたものである。